International Lawn Tennis Club of JAPAN Newsletter

2018年 7月　No.7

日本国際ローンテニスクラブ　会員の皆様へ

会員の皆様には、会員更新手続きをいただき、事務局運営へのご支援心より御礼申し上げます。 これまでの活動をご報告申し上げます。

●AGM総会参加

２０１７年７月にＩＣ（インターナショナル・ローン・テニス・クラブ）のＡＧＭ（年次総会）がロンドン、ローハンプトンのナショナル・テニス・センターで開催され、ディレクターの吉井みさ子が参加して参りました。ＩＣ各国代表より自国での年間活動内容などが報告され、2017–18年度の事業計画 、2016年度の会計報告、2017-18年度の予算について協議され、IC 慈善事業、イベント企画、ウェブサイトの件なども参加国を交えて議論されました。

●吉井みさ子が、アジア代表として5月ローランギャロスで開催のエクゼクティブコミッティ会議に参加してまいりました。

●IC オーストラリア　IC Japan 会員親睦交流会参加

●IC ルクセンブルク来日交流試合

4月3日東京ローンテニスクラブにおいて、来日チームをお迎えして交流試合並びに親睦会を開催しました。

● IC イスラエル会員ご夫妻来日

５月6日東京ローンテニスクラブにMendelご夫妻をお招きし、親睦会を開催しました。

IC日本創立４０周年記念大会開催決定！

The Compass IC Junior Challenge Worldwide Finals

2018年10月8日（月）～　10月12日（金）

エストーレホテル アンド テニスクラブ

〒283-0801千葉県東金市八坂台1-8

参加チーム:

インド、イタリア、日本、南アフリカ、アメリカ、ウルグアイ

1チーム　男女選手2名、コーチ　合計5名構成

大会成功に向けて、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

★大会スケジュール★

10月 5日（金）選手入り

10月 6日（土）選手入り

10月 7日（日）午前　練習

午後チャリティイベント開催

10月 8日（月）大会1日目　夕方選手観光

ウェルカムディナー（グランドハイヤット東京）

10月 9日（火）大会2日目　午後　和文化体験

10月10日（水）大会3日目　午後　近郊観光

10月11日（木）大会4日目　午後　和文化体験

10月12日（金）大会5日目

表彰式　フェアウェルディナー開催

10月13日（土）選手チェックアウト、空港送迎

深く哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

河盛　純造　氏（享年75歳）井田　栄一　氏（享年67歳）

IC オーストラリア　親睦交流会に参加して

ICオーストラリアからメールが届き、オーストラリアン・オープン期間中に　親善試合をしないかとのお誘いを受けました。最初はもう少し大勢で行こうと思っていましたが、最終的に、蝶間林さん、甘露寺圭郁さん、井上雅夫ご夫妻と吉井みさ子の５名でのオーストラリア訪問となりました。

出発1日前、日本列島は大雪に見舞われ、交通機関も麻痺状態。これでは飛行機も飛ばないのでは？と不安に思いながら、分ごとに遅れが大きくなる成田エクスプレスに乗りやっとついた成田空港は予想通りの大混乱！フライトのキャンセル等で足止めされた人たちが床に寝袋で寝るなかを通り抜け、乗り込んだ我々のフライトはわずか１５分遅れでした。日本の空港だからこそなし得る事と驚きながらもオーストラリアに向けて飛び立ちました。

日が変わってからのホテル到着だったにも関わらず、IC オーストラリアのケリン・プラットさんがホテルに迎えにきてくださったのが朝の８時半。飛行機の中で隣に座ったメルボルンで生まれ育った女性のおすすめのカフェでしっかり朝食を済ませての集合でした。

シドニーは連日３５度を越す暑さとの天気予報の情報、でもメルボルンの気温は２５度と、思ったより過ごしやすい初日、車を走らせ２０分、ついたのはかつてオーストラリアン・オープンが開催されていたKooyong Lawn Tennis Club。早速目の前に広がるグラスコートで親善試合がはじまりました。シングルス、ダブルス、ミックス・ダブルスと、、、、甘露寺さんは同じ頃ツアーに出ていたという会員とプレー、話も弾み、井上さんはアメリカのコロンビア大学でプレーされていた時に同じNCAA大学テニスをしていたという会員に出会い、蝶間林さんは、今回、最初にダブルス対戦したジェフ・マスターズ氏が、かつてご自分の結婚式に飛び入り参加された選手の一人であったと話され、昔を懐かしんでおられました。まさにテニスを通じた人間関係の輪を感じさせられたIC MOMENT（IC的瞬間）でした。クラブハウスにある様々な展示物を見ながら、試合のあとは クーヨングクラブのホールでオーストラリア各地から集まられたICオーストラリアの会員のみなさんとのランチがあり、オーストラリアというテニス大国の歴史とパワーを感じました。

翌日はメルボルンでもう一つの名門テニスクラブ、Royal South Yarra Lawn Tennis ClubでのIC ランチに招待され、セッジマンやフレジャーというレジェンド中のレジェンドとお目にかかる事も出来ました。ここでも、話せば話すほど、なんらかのつながりを見出す事ができる、、テニスを通したご縁を感じざるを得ませんでした。

滞在期間中、コアラやカンガルーと触れ合うサンクチュアリーに案内していただいたり、海辺のレストランでランチをしたり、、、そして、ほとんど毎日オーストラリアン・オープンを観戦しました。USオープン、フレンチ・オープン、ウィンブルドンのいずれとも異なるなんとも言えない独特の雰囲気のなか繰り広げられる熱戦、ケルバー vs.ハレプの女子の準決勝, ハレプvsウォズニアキの決勝、そしてフェデラーvs.チリッチの男子決勝、、、いずれも心を揺さぶられるテニスの試合でした。

南半球の国だからでしょうか、それともオーストラリア人の国民性なのでしょうか、ゆったりと流れる時間と人々の暖かさが印象的でした。メルボルンの街はきれいで、緑が多く、街並みも素敵でした。そしてなにより、大らか、大部分のエリアでトラムでの移動が無料だったり、街中がテニスに染まり、大会を盛り上げているところに感動しました。

（文章：吉井　みさ子）

IC ルクセンブルク来日交流試合報告

4月の前半、IC ルクセンブルグ御一行が日本へ観光旅行に来る事になりました。元選手男女９名とその配偶者及び子供達、総勢２１人のグループでした。ヨーロッパでは毎週末のようにどこかで行われているIC同士の親善試合を今回は日本のテニスクラブと行いたいとのご希望でした。日本のICはコロンブス・トロフィーやジュニア・チャレンジを主催した事はあるものの親善試合のホストとなった経験はなく、すべてが手探りでしたが、幸い東京ローンテニスクラブと芦屋国際ローンテニスクラブのご協力を得る事が出来、親善試合を無事終わらせる事が出来ました。

４月３日、晴れ、珍しく風のない春らしい日。一週間前に咲き出した桜は、その後の気温の低さのためまだ咲いており、東京ローンのコート脇に花びらがひらひらと舞っていました。日本側からはいずれもIC Japanのメンバーの渡辺康二、坂井利朗、神和住純、倉光哲、甘露時重房、井上雅夫、蝶間林利夫、村上智賀子、甘露寺圭郁、斎藤ミスミ（敬称略）の参加、元デビスカップやフェドカップ代表というルクセンブルグチームと対戦しました。さらにはクラブの外国人メンバー、Nick Nikkou とBeatrice Weberも参加し、プレーを楽しみました。結果は。。。試合後、クラブハウスでウェルカム・レセプションを行い６０名ほどのクラブメンバーとの歓談や三四郎さんによるサックスの演奏とダンスを楽しんでいただく事が出来ました。この企画にコートとクラブハウスを解放してくださった東京ローンテニスクラブの皆様に大変感謝しております。ありがとうございました。

4月12日、この日も晴れ、あれから日光、箱根、金沢、奈良、京都、大阪と観光をしてきたグループは休暇旅行が終わり先に帰国した大学生４名が減り、総勢１７名。今度は芦屋国際ローンテニスクラブにお邪魔しました。

静敬太郎氏のリーダーシップの元、元デビスカップキャプテン竹内映二氏を含む大勢の会員の方がお集まりくださり、中にはとても若い選手もおられ、一気にエネルギーアップした感じもしました。結果は。。。ランチにはクラブの女性たちが手作りでご用意くださった牛丼と野菜カレー、また抹茶のサービスにみなさん日本の味を大満喫しておられました。芦屋国際ローンテニスクラブの皆様、ご協力誠にありがとうございました。

全員無事に帰国したとICルクセンブルグ会長のピエール・クートからのメールが届いたのはそれから４日後。日本への旅はユニークな経験となったとの事でした。新幹線に乗り、日本という国では時間通りである事があたり前でありとても大切な事だと学んだと、また、日本人の勤勉さに驚いたと、彼らなりのユニークな着眼点でした。

来日前に、３日と１２日にもし雨が降ったら？との問いに、「天使の行くところには雨は降らない。大丈夫、我々は天使のようだから、、、」何を言っているのだろうと思いながら、万が一雨だったらと思い悩みましたが、やっぱり雨は降りませんでした。旅慣れた、おおらかな、ユーモアいっぱいの彼ら、予期する事が困難な桜の時期までもピンポイントで当ててきた、「天使」たちでした。

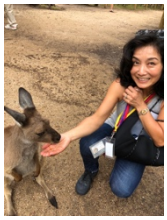
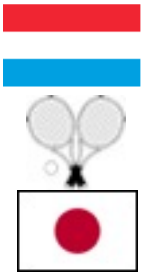
今回のようにホスト国の役割を果たし、次は我々がルクセンブルグや他の国へと出向きテニスを通じた国際親善を実施していく番だと感じました。

（文章：吉井　みさ子）

International Lawn Tennis Club of JAPAN Newsletter

2018年 7月 No.7

IC Australia 2018 JAN



IC Luxembourg 2018 APR